

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:26 dB)	0.7 μ V/75 Ω
S/N 46 dB感度	1.6 μ V/75 Ω
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比 (dB)	73 dB (MONO)
選択度 (\pm 400 kHz)	80 dB 以上
ステレオセパレーション(1 kHz)	35 dB

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
実用感度 (S/N:20 dB)	25 μ V

カセットデッキ部

テープスピード	4.76 cm/sec.
ワウ&フラッター	0.08 % (WRMS)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	25 Hz~18 kHz (70 μ s)
ステレオセパレーション (1 kHz)	43 dB
S/N比 (dB) (IHF-A)	57 dB
Dolby NR OFF	65 dB
Dolby B NR ON	

オーディオ部

最大出力	40 W \times 4
定格出力	22 W \times 4 (4 Ω , 1 kHz, 1%THD)
バス	\pm 10 dB (100 Hz)
トレブル	\pm 10 dB (10 kHz)
プリアウトレベル	1800 mV/10K Ω
プリアウトインピーダンス	600 Ω 以下

電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量 (重さ)

埋込寸法 (W \times H \times D)	182 \times 53 \times 154 mm
質量	1.5 kg

付属部品

電源ハーネス	1個
サラネジ (\varnothing 5 \times 8 mm)	4本
トラスネジ (\varnothing 5 \times 8 mm)	4本
セムスボルト (M4 \times 8 mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

カセットレシーバー (CD・MDチェンジャーコントロール)

RX-350

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
 ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
 また、この取扱説明書は大切に保管してください。
 本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
 KENWOOD CORPORATION

KENWOOD





ケンウッド

東京都渋谷区道玄坂1-14-6

お問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
 電話(03)3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9
 電話(06)957-5335 〒534 大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
 日、祝祭日および当社休日は休させていただきます。
 については、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、
 各営業所にご相談ください。

© B64-1126-00 (JW)

CONTENTS

●安全上のご注意	3
●使用上のご注意	8
●操作のしかた	
ALL MODE <共通操作>	10
 TUNER MODE <FM/AM放送を聴く>	14
 TAPE MODE <テーププレイを楽しむ>	16
 DISC CHANGER CONTROL MODE <ディスクチェンジャーを操作する>	20
 REMOTE CONTROL MODE <リモコンで操作する>	24
●接続・取り付けのしかた	26
●故障かな?と思ったら	28
●保証とアフターサービス	31
●仕様一覧	32

- DISC CHANGER CONTROL MODEは、別売品のディスクチェンジャーを組み合わせている場合に操作できます。
- REMOTE CONTROL MODEのリモコンは別売品のカードリモコン“KCA-R4”です。

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。
お読みになった後は必要などきにご覧になれるように大切に保管してください。

絵表示について この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

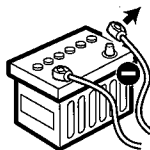
警告



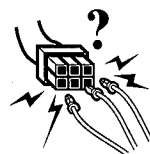
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



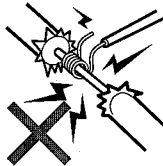
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



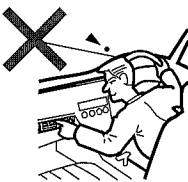
本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作の妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



警告



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



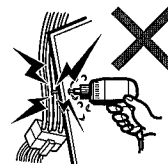
車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かなく所に保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 警告



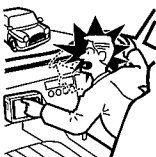
運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

実施



運転者が各種設定や調整などの操作をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

実施



ディスプレイが表示されない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

禁止



万一、<異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど>異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず<お買い上げの販売店>にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

実施



製品を分解したり、改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。

禁止



修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

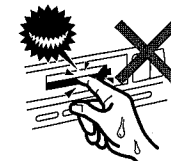
実施

⚠ 注意



カセットテープ挿入口に指を入れないでください。怪我をすることがあります。

禁止



カーオーディオ製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

実施



ガラス部品を使用している製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。割れてけがをすることがあります。

禁止



本製品に使用している液晶部品が衝撃等により破損した場合、液晶液に触れないでください。生命に危険を及ぼすおそれがあります。液晶液が手足など身体や、衣服に付いた場合は、ただちに石鹸で洗い落としてください。

禁止



本製品の通風口や放熱器をふさがないでください。通風口や放熱器をふさぐと内部が高温になり、火災の原因になることがあります。

注意



リモコンには指定以外の電池を使用しないでください。また、電池の入れ替えは極性に注意し指示通りにおこなってください。乾電池の破裂、液漏れなどにより、火災や怪我の原因となることがあります。

禁止



本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

禁止

使用上のご注意

■ 本機に接続できるディスクチェンジャーについて

本機でコントロールできるディスクチェンジャーは1台のみです。別売のCD/MDチェンジャースイッチングユニット"KCA-S200"を使用してディスクチェンジャーを2台接続する場合は、KCA-S200付属のコントローラーでディスクチェンジャー1、2を切り替えてください。

KDC-C210、KDC-C206、KDC-C110、KDC-C106、KDC-C11、KDC-C10、KMD-C80は直接接続することができます。

KDC-C210、KDC-C206を接続している場合はディスクチェンジャーのO-Nスイッチを"O"に設定してください。

KDC-C200、KDC-C300、KDC-C301、KDC-C50、KDC-C55のいずれかを接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。(接続するディスクチェンジャーにより操作できない機能があります。)

また、C705i、C705sr、MD6、MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。

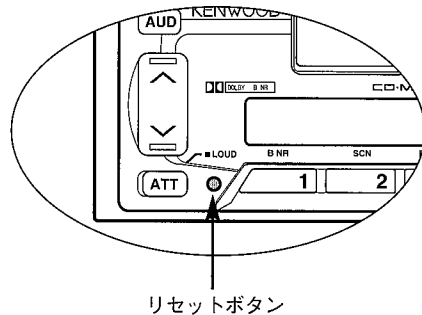
上記以外のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは、本機に接続することはできません。接続すると故障や破損の原因となります。

■ セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか、やわらかい布でからぶきしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものでふくと、傷がついたり、文字が消えることがあります。

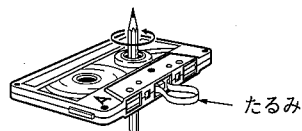
■ リセットボタンについて

初めてディスクチェンジャーをコントロールするときや、ディスクチェンジャーが誤動作したときはリセットボタンを押してください。ディスクチェンジャーが初期状態になります。

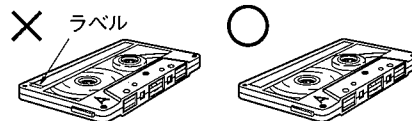


■ テープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

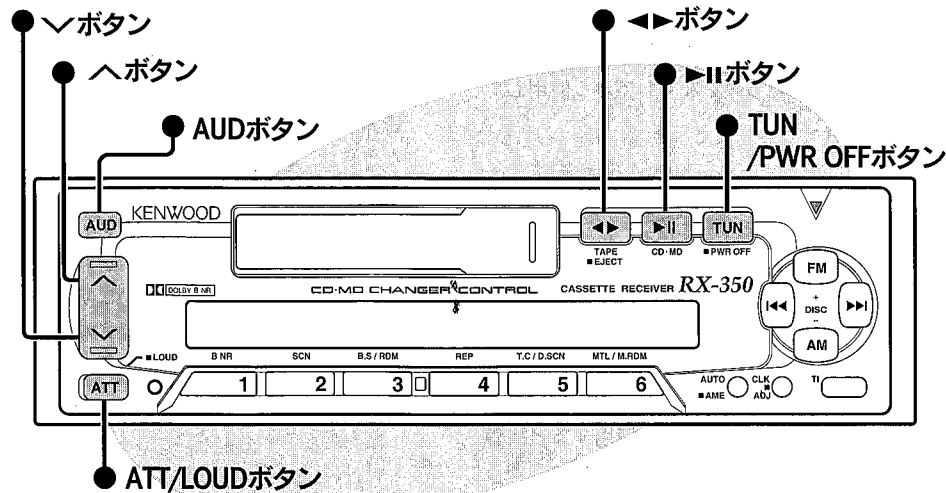
100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないでください。

■ ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店やレコード販売店で市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

ALL MODE

ALL MODE



1 電源オン - 電源を入れる -

● ラジオを聴くとき

TUNボタンを押すとラジオがオンになります。

● カセットテープを聴くとき

テープの見える面を右側にしてカセット挿入口にカセットテープを入れると、テーププレイが始まります。カセットテープが中に入っているときは◀▶ボタンを押すとテーププレイが始まります。

● ディスクチェンジャーを聴くとき

ディスクチェンジャーが接続されているときに、▶▶ボタンを押すとディスプレイが始まります。

2 電源オフ - 電源を切る -

PWR OFFボタンを1秒以上押すと電源がオフになります。

3 ボリューム - 音量調整 -

へボタンを押すごとに音量が大きくなります。

▽ボタンを押すごとに音量が小さくなります。



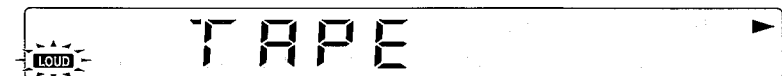
4 アッテネーター - 音量をすばやく小さくする -

ATTボタンを押すごとにアッテネーターがオン/オフします。オンにするとATTインジケーターが点滅して、音量が瞬時に小さくなります。



5 ラウドネス - 小音量時にメリハリのある音質にする -

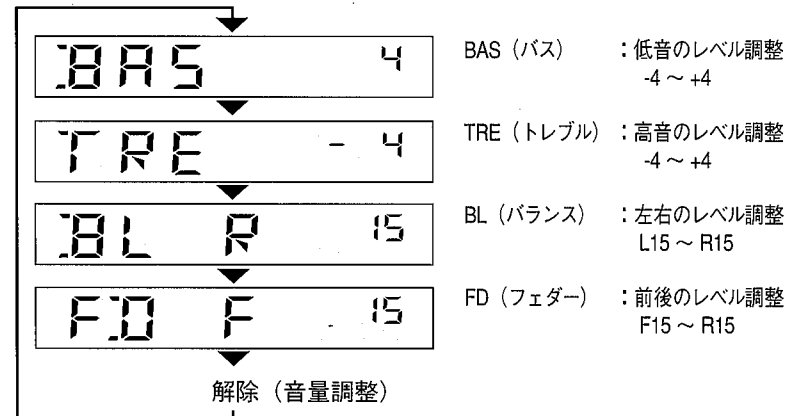
LOUDボタンを1秒以上押すごとにLOUDネスがオン/オフします。オンにするとLOUDインジケーターが点灯して、高音と低音が強調された音になります。



ラジオの場合は低音のみ強調した音になります。

6 オーディオコントロール - 音質、レベルを調整する -

1. AUDボタンを押すとオーディオ調整モードがオンになります。
2. AUDボタンを押すごとに調整モードが下記の順に切り替わります。
3. 各モード表示中にへボタンまたは▽ボタンを押すと設定が変更できます。
4. AUDボタンを1秒以上押すとオーディオ調整モードがオフになります。

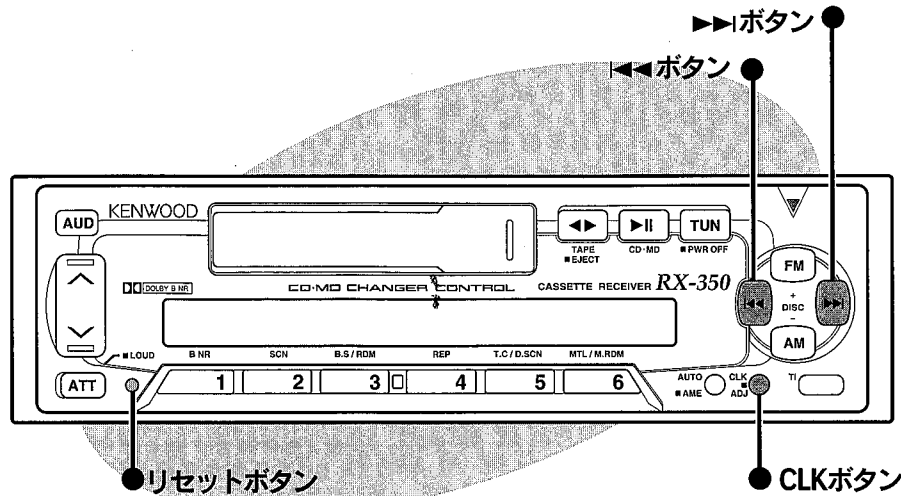


- 低音、高音はテープ、チューナー (FM/AM)、ディスクチェンジャーコントロールモードごとに調整することができます。
- 5秒間何も操作しないと、オーディオ調整モードは自動的に解除され音量調整になります。

ALL MODE

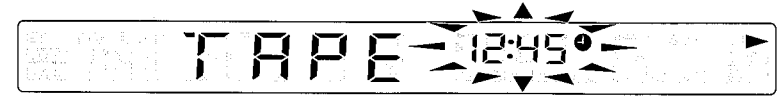
ALL MODE

ALL MODE



7 時計表示切り替え —時計表示にする—

- TUNER、TAPE MODEのとき
CLKボタンを押すごとに時計表示がオン/オフします。
- DISC CHANGER CONTROL MODEのとき
CLKボタンを押すごとに演奏時間表示と時計表示が切り替わります。
時計表示中は●インジケーターが点灯します。



本機の電源をオフ、およびエンジンキーをオフしているときは時計の表示はしません。

8 時計調整 —時刻を合わせる—

1. CLKボタンを押して時計表示にします。
2. CLKボタンを押しながら◀◀ボタンを押すと“時”、▶▶ボタンを押すと“分”が調整できます。

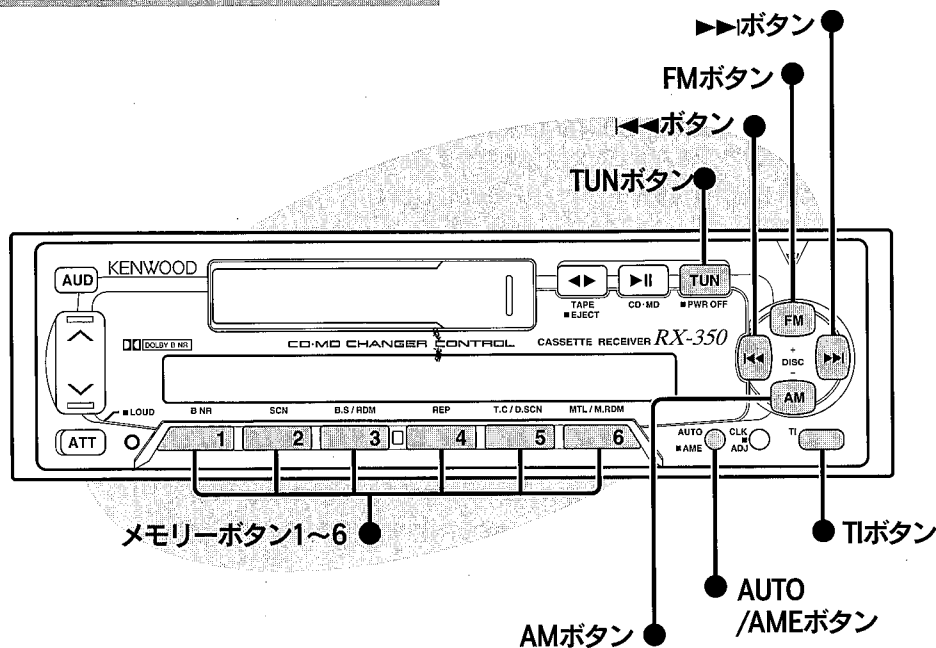
9 リセット

ディスクチェンジャーが誤動作したときは、リセットボタンをペン先などで押してください。ディスクチェンジャーが初期状態になります。

ALL MODE

TUNER MODE

TUNER MODE



1 ラジオのオン/オフ —ラジオを聴く—

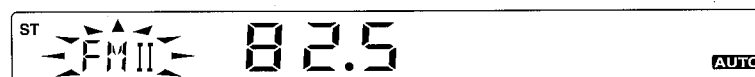
TUNボタンを押すごとにラジオがオン/オフします。オフ中は [OFF] と表示され、イルミネーション点灯のまますべての機能を一時的に停止します。



受信周波数表示

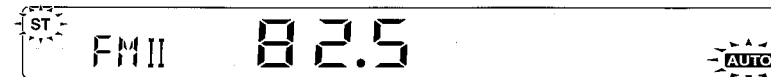
2 プリセットバンド切り替え —聴きたいバンドを選ぶ—

FMボタンを押すごとにプリセットバンドがFM I、FM IIに切り替わります。AMボタンを押すごとにプリセットバンドがAM I、AM IIに切り替わります。選んだバンドが表示されます。



3 オート/マニュアルチューニング —放送局を探す—

AUTOボタンを押すごとにチューニング方法がオート（自動選局）とマニュアル（手動選局）に切り替わります。オートチューニングを選択するとAUTOインジケータが点灯します。



● オートチューニング選択時（AUTOインジケータ点灯）

▶▶ボタンを押すと周波数の高い方へ、◀◀ボタンを押すと周波数の低い方へ自動的に放送局を探して受信します。

FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

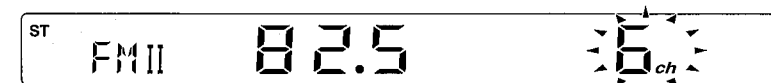
● マニュアルチューニング選択時（AUTOインジケータ消灯）

▶▶ボタンを押すと周波数が高い方へ、◀◀ボタンを押すと周波数が低い方へ1ステップずつ変わります。押し続けると連続して周波数が変わります。

FMステレオ放送を受信するとSTインジケータが点灯します。

4 チューナーメモリー —放送局をメモリーする—

放送局を受信中にメモリーボタン1~6のいずれかを2秒以上押し、押したボタンに現在聴いている放送局がメモリーされ、メモリーNo.が表示されます。各バンドにそれぞれ6局までメモリーできます。



5 オートメモリー —自動的に放送局を探してメモリーする—

AMEボタンを2秒以上押しとオートメモリーが始まります。オートメモリー中はchインジケータが点滅して、現在受信可能な放送局を各バンド最大6局まで自動的にメモリーします。

6 メモリー呼び出し —メモリーした放送局を呼び出す—

メモリーボタン1~6のいずれかを押しとメモリーNo.が表示され、チューナーメモリー、オートメモリーでメモリーした放送局を受信します。

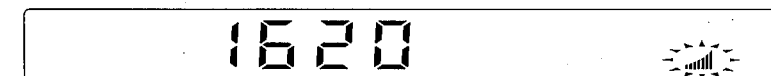
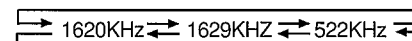
7 交通情報 —交通情報局を受信する—

● 交通情報を聴く

TIボタンを押すごとに交通情報がオン/オフします。オンにするとインジケータが点灯します。

● 受信周波数を切り替える

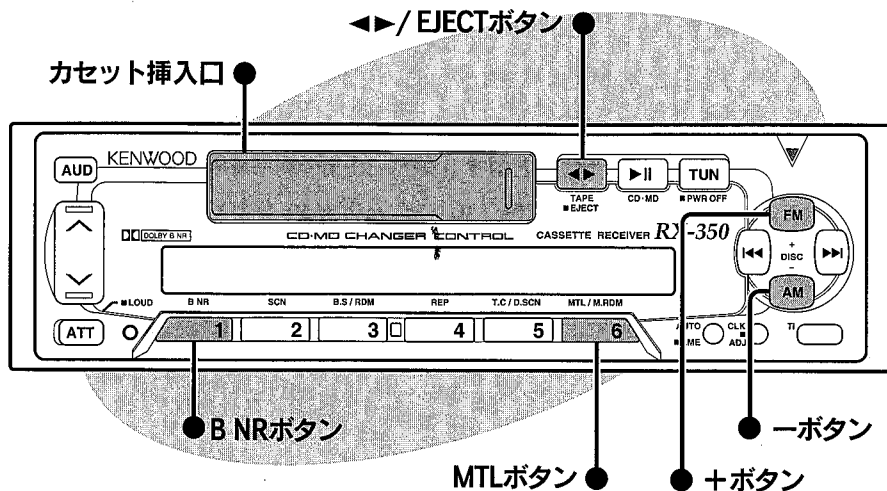
◀◀または▶▶ボタンを押すと受信周波数が以下のように切り替わります。



- 交通情報はどのモードからも受信することができます。
- 交通情報は、他のモードに切り替えると解除されます。

TAPE MODE

TAPE MODE



1 テーププレイ —テープを演奏する—

●テープが入っていないとき

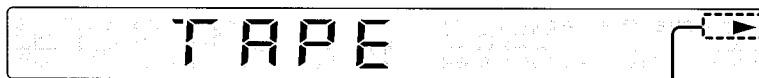
テープの見える面を右側にしてカセット挿入口にカセットテープを入れるとテーププレイが始まります。

●テープが入っているとき

◀▶ボタンを押すとテーププレイが始まります。

走行方向を走行インジケータで表示します。

Ⓜ テーププレイ中に◀▶ボタンを押すごとにフォワードプレイとリバースプレイが切り替わります。



走行インジケータ

走行インジケータは、A面を上にしてテープを挿入すると、A面を演奏中は▶インジケータが点灯し、B面を演奏中は◀インジケータが点灯します。

注意 変形したカセットテープや100分以上のカセットテープは使用しないでください。カセットテープが取り出せなくなるなどの故障原因になります。

2 イジェクト —カセットテープを取り出す—

EJECTボタンを1秒以上押すとカセットテープが出てきます。

3 早送り／巻き戻し

+ボタンを押すと早送りをします。

-ボタンを押すと巻き戻しをします。

Ⓜ 途中で解除するときは◀▶ボタンを押します。

4 ドルビーB NR —ドルビーB NRを使って録音されたテープを聴く—

B NRボタンを押すごとにドルビーB NRシステムがオン/オフします。

オンにするとB NRインジケータが点灯します。

ドルビーB NRシステムで録音したテープを再生するときはオンにします。



ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

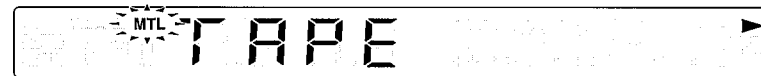
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

5 テープセレクト —メタル／クロームテープを聴く—

MTLボタンを押すごとにテープタイプがメタル (TYPE IV) / クローム (TYPE II) ポジションとノーマル (TYPE I) ポジションに切り替わります。

オンにするとMTLインジケータが点灯します。

メタル／クロームポジションのテープを再生するときはオンにします。

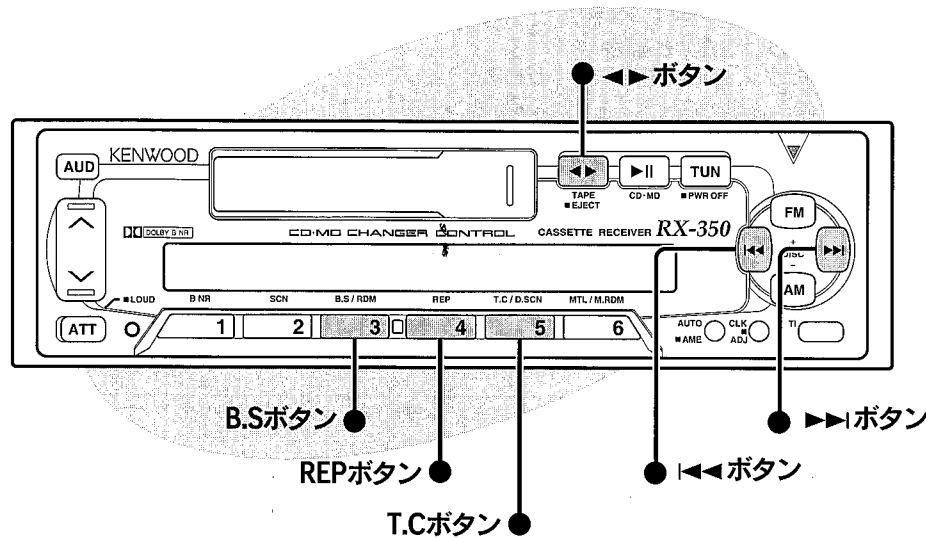


TAPE MODE

TAPE MODE

TAPE MODE

TAPE MODE

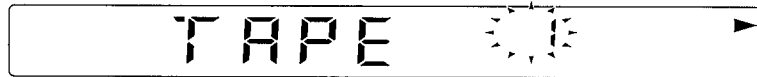


6 テープアドバンス 一曲の頭出しをする

● 次の曲を聴く

▶▶ボタンを押すとテープアドバンスインジケータが [1] の表示になり、次の曲の先頭まで早送りし、自動的に演奏が始まります。

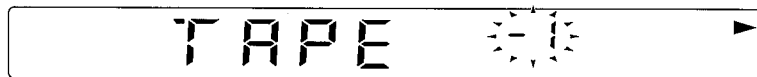
途中で解除するときは◀▶ボタンを押します。



● 現在の曲を最初から聴く

◀◀ボタンを押すとテープアドバンスインジケータが [-1] の表示になり、現在の曲の先頭まで巻き戻り、自動的に演奏が始まります。

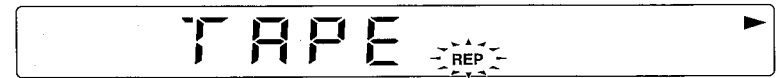
途中で解除するときは▶▶ボタンを押します。



7 リPEATプレイ ー同じ曲を繰り返し聴くー

REPボタンを押すごとにリPEATプレイがオン/オフします。

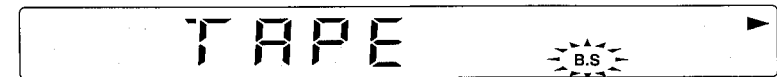
オンになるとREPインジケータが点灯して、聴いている曲を繰り返し演奏します。



8 ブランクスキップ ー無録音部分をスキップするー

B.Sボタンを押すごとにブランクスキップがオン/オフします。

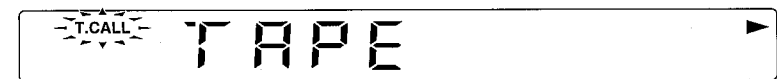
オンになるとB.Sインジケータが点灯して、10秒以上無録音部分があると自動的に次の曲の先頭まで早送りされます。



9 チューナーコール ー早送り・巻き戻し中にラジオを聴くー

T.Cボタンを押すごとにチューナーコールがオン/オフします。

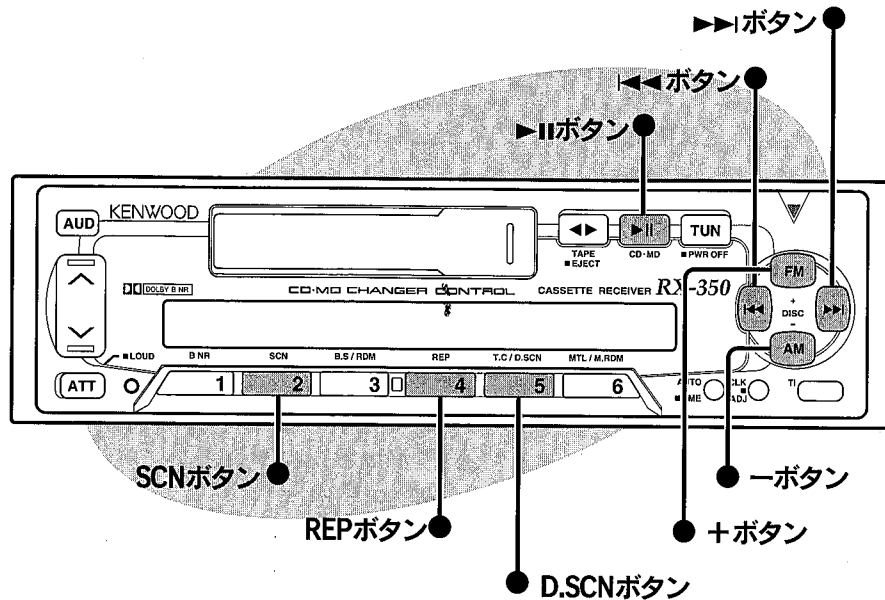
オンになるとT.CALLインジケータが点灯して、テープの早送り・巻き戻し中、およびテープアドバンス中はラジオの音声に切り替わります。



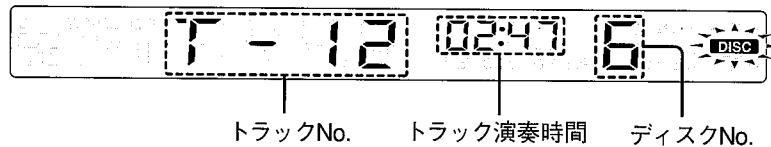
- テープアドバンス、リPEATプレイは曲間の何も録音されていない無録音部分を検出して行ないます。そのため曲間の無録音部分が4秒未満のテープでは曲間を検出できなかったり曲の途中で「先頭」と判断することがあります。
- ブランクスキップは無録音部分の雑音非常大いと早送りされないことがあります。また、クラシック音楽など録音レベルが非常に小さい部分が曲の途中で10秒以上続くと、ブランクスキップすることがあります。この場合はブランクスキップをオフにしてください。
- オートアンテナ仕様車ではチューナーコールがオンのときアンテナが伸びた状態になります。車庫入れなどでアンテナを縮めたいときはチューナーコールをオフにしてください。

DISC CHANGER CONTROL MODE

DISC CHANGER CONTROL MODE



1 ディスクプレイ/ポーズ —ディスクチェンジャーを聴く—
 ディスクチェンジャーが接続されているときに▶▶ボタンを押すと、DISCインジケータが点灯してディスクプレイが始まります。
 Ⓜ ディスクプレイ中に▶▶ボタンを押すと、演奏時間表示が点滅して一時停止します。もう一度押すと、再びディスクプレイが始まります。



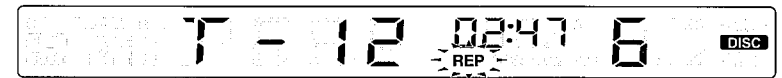
2 トラックサーチ —聴きたい曲を選ぶ—
 ●先の曲の選ぶ
 ▶▶ボタンを押すごとに先の曲へトラックサーチします。
 ▶▶ボタンを押し続けると聴いている曲を早送りします。
 ●現在の曲を最初から聴く/手前の曲の選ぶ
 ◀◀ボタンを押すと現在の曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
 ◀◀ボタンを押し続けると聴いている曲を早戻しします。

MDチェンジャーを聴いているときにトラックの先頭まで早戻しすると、自動的に解除されてディスク演奏が始まります。

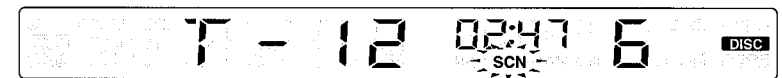
3 ディスクサーチ —聴きたいディスクを選ぶ—
 +ボタンを押すごとに先のディスクへサーチします。
 -ボタンを押すごとに手前のディスクへサーチします。

4 リピートプレイ —同じ曲/同じディスクを繰り返し聴く—
 REPボタンを押すごとにリピートプレイモードが以下のように切り替わります。
 ▶トラックリピートプレイ → ディスクリピートプレイ → 解除

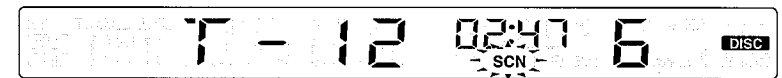
- トラックリピートプレイ
 REPインジケータが点灯してトラックNo.表示が点滅します。聴いている曲を繰り返し演奏します。
- ディスクリピートプレイ
 REPインジケータが点灯してディスクNo.表示が点滅します。聴いているディスクを繰り返し演奏します。



5 トラックスキャンプレイ —聴きたい曲を探す—
 SCNボタンを押すごとにトラックスキャンプレイがオン/オフします。オンにするとSCNインジケータが点灯して、トラックNo.表示が点滅します。聴いているディスクの各曲の先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。
 Ⓜ 聴きたい曲が見つかったら、SCNボタンまたは▶▶ボタンを押します。



6 ディスクスキャンプレイ —聴きたいディスクを探す—
 D.SCNボタンを押すごとにディスクスキャンプレイがオン/オフします。オンにするとSCNインジケータが点灯して、ディスクNo.表示が点滅します。マガジン内のディスクの先頭部分を約10秒間ずつ演奏します。
 Ⓜ 聴きたいディスクが見つかったら、D.SCNボタンまたは▶▶ボタンを押します。

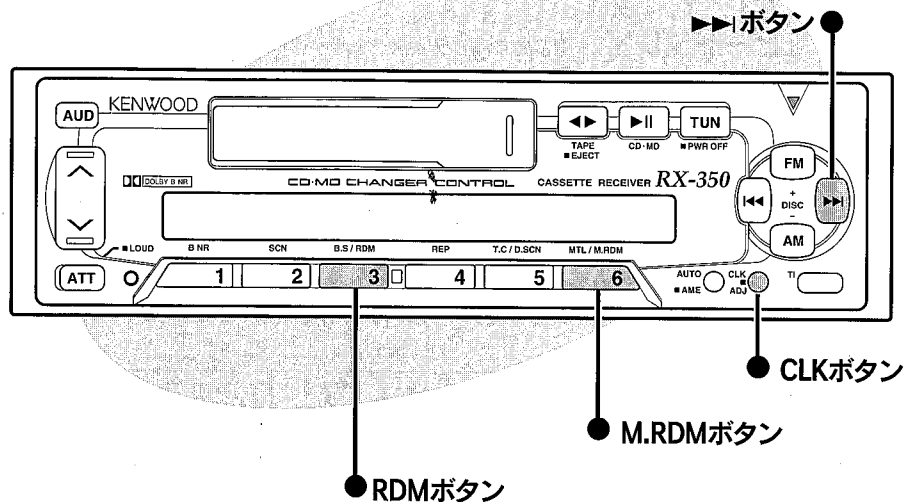


全てのディスクをスキャンするとディスクスキャンプレイは自動的にオフになります。

DISC CHANGER CONTROL MODE

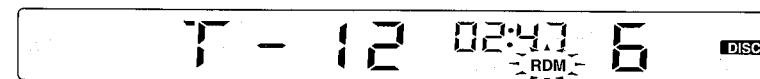


DISC CHANGER CONTROL MODE



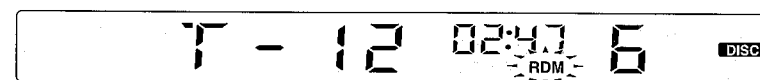
7 **トラックランダムプレイ** —聴いているディスクから自動的に曲を選ばせて演奏する—
RDMボタンを押すごとにトラックランダムプレイがオン/オフします。
オンにすると、RDMインジケータが点灯し、自動的に曲を選んで演奏します。
演奏中はトラックNo.表示が点滅します。

▶▶ボタンを押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。



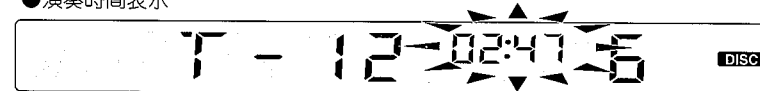
8 **マガジンランダムプレイ** —マガジンから自動的に曲を選ばせて演奏する—
M.RDMボタンを押すごとにマガジンランダムプレイがオン/オフします。
オンにすると、RDMインジケータが点灯して、自動的に曲を選んで演奏します。
演奏中はディスクNo.表示とトラックNo.表示が点滅します。

▶▶ボタンを押すと次の曲を自動的に選んで演奏します。

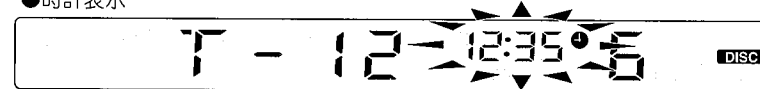


9 **表示モード切り替え** —演奏時間表示と時計表示を切り替える—
CLKボタンを押すごとに演奏時間表示と時計表示が切り替わります。

●演奏時間表示



●時計表示



DISC CHANGER CONTROL MODE

REMOTE CONTROL MODE

REMOTE CONTROL MODE

■ ALL MODE

TUNERボタン
押すごとにラジオがオン/オフします。

TAPEボタン
テープが入っているときに押すとテーププレイが始まります。

CD-CHボタン
ディスクチェンジャーを接続しているときは、押すとディスクチェンジャープレイが始まります。

VOL.ボタン
∧/∨ボタンで音量調整できます。

ATTボタン
押すごとにアッテネーターがオン/オフします。

■ TUNER MODE

ナンバーボタン
1~6はメモリーした放送局を呼び出します。

◀◀/▶▶ボタン
◀◀ボタンを押すと受信周波数が下がります。
▶▶ボタンを押すと受信周波数が上がります。

FMボタン
押すごとにFM I、FM IIバンドに切り替わります。

AMボタン
押すごとにAM I、AM IIバンドに切り替わります。

■ TAPE MODE

◀◀/▶▶ボタン
◀◀ボタンは現在の曲の先頭から演奏します。
▶▶ボタンは先の曲の先頭から演奏します。

◀◀/▶▶ボタン
◀◀ボタンを押すと巻き戻しが始まります。
▶▶ボタンを押すと早送りが始まります。

▶|||ボタン
押すごとにフォワードプレイとリバースプレイが切り替わります。
巻き戻し、早送り、テープアドバンス中に押すとテーププレイに戻ります。

■ DISC CHANGER CONTROL MODE

◀◀/▶▶ボタン
◀◀ボタンを押すと現在の曲の先頭へ、押すごとに手前の曲へトラックサーチします。
▶▶ボタン押すごとに先の曲へトラックサーチします。

▶|||ボタン
ディスク演奏のプレイ/ポーズができます。

◀◀/▶▶ボタン
◀◀ボタンは手前のディスクを演奏します。
▶▶ボタンは次のディスクを演奏します。

REMOTE CONTROL MODE

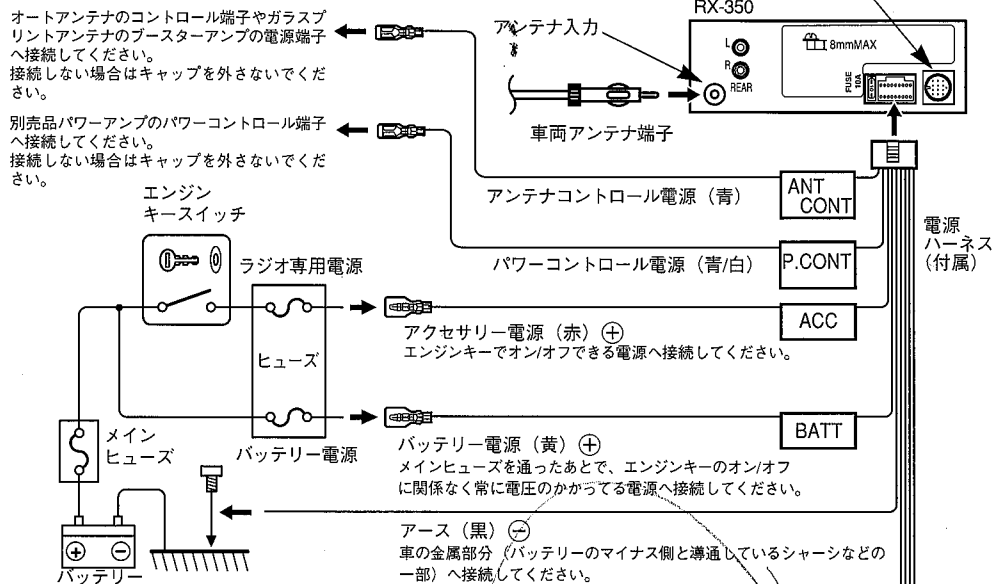
（別売のリモコン“KCA-R4”を使用するとリモコンから本機を操作することができます。（一部操作のできないボタンがあります。）

接続・取り付けのしかた

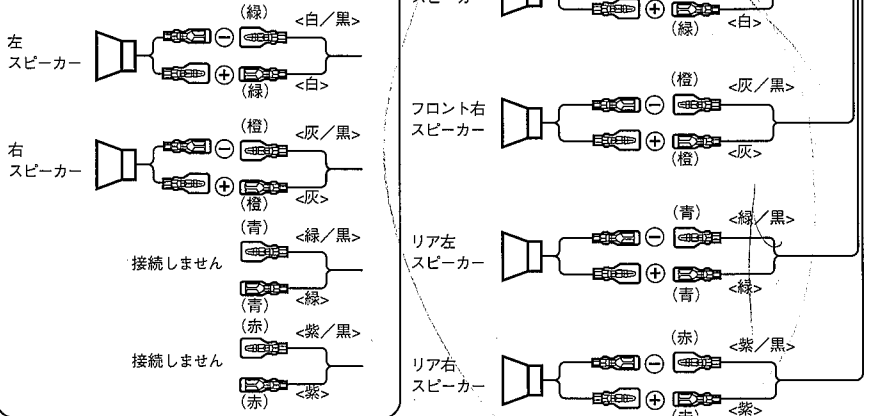
! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

実施

1. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
2. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
3. 電源ハーネスのアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)を順に接続します。
4. 電源ハーネスのコネクターをRX-350に接続します。
5. 取付終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
6. 電源をオンにしてリセットボタンを押します。(⇨P.8) ディスクチェンジャー入力

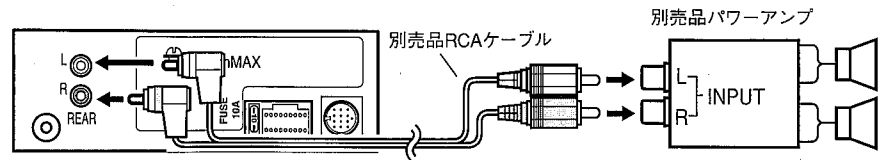


2スピーカー時のスピーカー接続方法



● プリアウト端子の接続

別売品のRCAケーブルを使用して、パワーアンプに接続します。

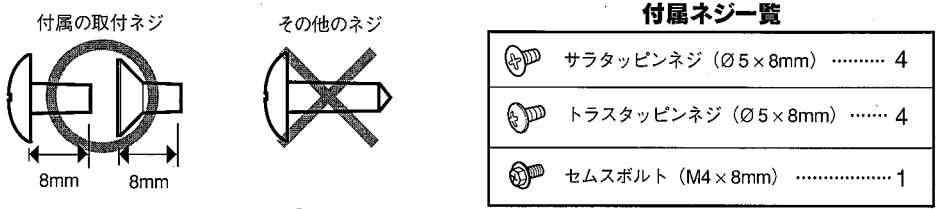


プリアウト端子からは、操作確認音(ピーブ音)は出力されません。

● 本機の取り付け

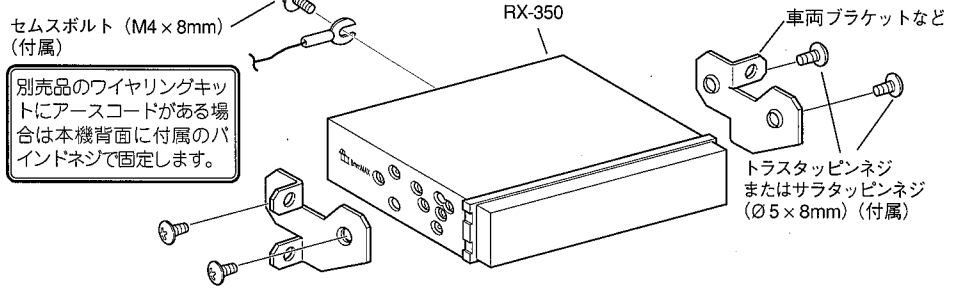
付属のネジ(Φ5×8mm)4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

! **注意** ● 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。● 取付ブラケット用ネジはサラ型、トラス型の2種類を付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



付属ネジ一覧

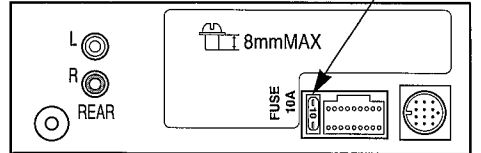
サラタッピンネジ (Φ5×8mm)	4
トラスタッピンネジ (Φ5×8mm)	4
セムスボルト (M4×8mm)	1



● ヒューズ交換のしかた

! **注意** ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

セット背面



故障かな？と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	こうします
音が出ない／小さい	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがオンになっている。 ヒューズが切れている。 フェダー、バランスが片側に片寄った設定になっている。 入・出力/電源コードが間違っ て接続されている。 カセットテープの不良。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 コード類がショートしていないことを確認後、所定容量のヒューズと交換してください。 フェダー、バランスを調整してください。 "接続・取り付けのしかた"を見て正しく接続してください。(⇒P.26) 他のカセットテープを使用してください。
音質が悪い(音が歪む)	<ul style="list-style-type: none"> 音量が大きすぎる。 ヘッドが汚れている。 スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 スピーカー配線が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正音量で使用してください。 "ヘッドクリーニングについて"を見てヘッドクリーニングを行ってください。(⇒P.9) スピーカー配線をチェックしてください。 スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカー端子に接続してください。
テープが入らない	<ul style="list-style-type: none"> カセットハーフが変形している。 テープが逆向きになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のカセットテープを使用してください。 テープが見える面を右にして入れてください。
チューナーの感度が悪い	<ul style="list-style-type: none"> 自動車のアンテナが伸びていない。 アンテナコントロール電源が接続されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを十分伸ばしてください。 "接続・取り付けのしかた"をみてアンテナコントロール電源を接続してください。(⇒P.26)
カセットモード中にアンテナが伸びる	チューナーコールがオンになっている。	チューナーコールをオフにしてください。(⇒P.19)

●ディスクチェンジャー（別売）を接続しているとき

こんなとき	どうして	こうします
ディスクチェンジャーコントロールモードにならない	<ul style="list-style-type: none"> 本機のチェンジャー入力が接続されていない。 チェンジャーのO-Nスイッチが"N"に設定されている。(KDC-C210、KDC-C206接続時) 	<ul style="list-style-type: none"> 本機のチェンジャー入力を接続してください。 チェンジャーのO-Nスイッチを"O"に設定してください。
操作スイッチを押しても動作しない	マイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。(⇒P.13)
ディスクの演奏が始まらない	電源がオンになっていない。	電源をオンにした後、▶▶ボタンを押してディスクチェンジャーモードにしてください。
指定したディスクが演奏されず、ほかのディスクの演奏をする	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが異常に汚れている。 ディスクが裏返しになっている。 ディスクが2枚同じ場所に入っている。 ディスクの入れた場所と指定No.が違う。 ディスクに大きな傷がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクのクリーニングをしてください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトしてディスクを正しく入れ直してください。 マガジンをイジェクトして指定ディスクのNo.を確認してください。 他のディスクを使用してください。
チェンジャー表示はするが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> 音量が最小になっている。 アッテネーターがオンになっている。 マイコンが正常に動作していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 音量を適度に上げてください。 アッテネーターを解除してください。 本機のリセットボタンを押してください。(⇒P.13)
選曲動作をしても目的の曲にならない	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードになっている。	ランダムプレイ/マガジンランダムプレイモードを解除してください。(⇒P.23)

故障かな?と思ったら

●以下の表示でディスクチェンジャーの状態をお知らせします。

- E-01:** ディスクマガジンが入っていない。
ディスクマガジンが完全に入っていない。
など
- E-02:** ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。
- E-04:** ディスクが異常に汚れている。
ディスクが裏返しになっている。
ディスクにキズが多く付いている。
ディスクが入っていない。
ディスクマガジンにトレイが入っていない。
- E-10:** 演奏しようとしたMDに何も記録されていない。
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
- E-11:** 演奏しようとしたMDに何も録音されていない。
⇒ 次のMDを自動的に演奏します。
- E-77:** 何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ 本機のリセットボタンを押してください。それでも“E-77”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- E-99:** ディスクマガジンに異常がある
何らかの原因で正常に動作していない。
⇒ ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
ディスクマガジンに異常がなければ、本機のリセットボタンを押してください。
それでも“E-99”表示が消えない場合は、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- E-Od:** 温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。
このときこの表示が出ます。
⇒ ディスクチェンジャー取り付け場所の温度を下げればしばらくのちに表示は消えます。

保証とアフターサービス

保証について

●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッドサービス網一覧表”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

●保証期間中は....

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後は....

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により**有料**にて修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
(ディスクチェンジャーと一緒に持ち込まれる際は、ディスクマガジンを取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

●修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。